

# 平成 29 年度第 2 回蕨市消防委員会議事録

■日 時 平成 30 年 2 月 20 日（金） 午後 4 時～午後 5 時

■場 所 蕨市消防本部 2 階会議室

■出席者 （敬称略）

委 員：今井良助（委員長）、山崎徹（副委員長）、中村美枝、岡田正信、山口武義、みやした奈美

事務局：堤昭広（消防長）、原田昌彦（総務課長）、鶴巢優子（予防課長）、萬年祐次（総務課長補佐）、山崎高義（警防係長）、山田睦（庶務課員）、後藤壮志（庶務係課員）、高橋晴弥（庶務課員）

■次 第

- 1 開会
- 2 委員長挨拶
- 3 消防長挨拶
- 4 審議事項
  - (1) 平成 30 年度消防本部所管歳出予算(案)の概要について
  - (2) 平成 29 年中の火災発生状況について
  - (3) 平成 29 年中の救急出動件数及び救急搬送人員について
  - (4) 蕨市消防署塚越分署建替基本計画パブリックコメントについて
  - (5) 平成 30 年春季火災予防運動について
  - (6) その他

■審議内容

(1)資料に基づき、平成 30 年度消防本部所管歳出予算(案)の概要について説明

委員長：委員の皆様から意見はございますか。

委 員：非常備消防費のケブラー手袋というのは、どういった手袋か。

事務局：これは、一見すると皮製に似ていますが、ケブラー繊維製のもので、鋭利なものでも切れない耐刃（タイジン）性能のある手袋です。消防活動上、手のひらの安全確保は重要ですので、すべての消防団員に貸与されます。今見本をお持ちします。

委 員：値段は一双どのくらいか。

事務局：3,500 円程度です。

委 員：街なか AED 事業で、コンビニの店員に講習をする予定なのか。

事務局：コンビニには、AED 貸し出しだけをお願いしているので、店員さんが AED を持

って現場に駆け付け、使用するところは、お願いしていません。

委員：それでは、設置しても使えないことがあるのではないか。

事務局：店舗の深夜帯は店員数も少なく、AED を操作してもらうことまでをお願いすることは店舗側の負担が大きいと考えています。市民への普及啓発は、普通救命講習を年間 300 名程度実施するなど、個別に行っており、駆け付けた通報者による使用を想定しております。

消防長：その他にも出前講座や、全小学校の 5 年生を対象にした入門講座を毎年実施するなど、消防として AED を使える方を増やす取組を行っております。

委員長：蕨市には現在どのくらいコンビニがあるのか。

事務局：31 店舗です。

委員長：消防で依頼したと思いますが、全店舗快く引き受けていただけることになったのですか。

事務局：はい。

委員長：蕨市内に今 AED はいくつあるのか。

事務局：県で把握している数は 99 基です。

委員長：その中で利用された件数はどうか。

事務局：全体の件数は把握しておりませんが、最近の事例では、市内のスポーツクラブに救急出動した際に 1 件の使用を把握しております。

委員：市内で 99 基という数は足りているのか。

事務局：この数は県に登録している数で、事業所等では県に登録していないところもあり、実際はもっと多いので、それなりに市内の身近に AED がある状況にはなっていると思われませんが、夜間使用できないところが多いため、夜間でも使えるように、24 時間営業の店舗に設置をお願いしたところ です。

委員：防災大学等で話題になることだが、一般の方は AED のある場所がわからないようである。何か対策はないか。

事務局：県のホームページで公表しており、地図が出るようになっているほか、119 番通報の際、AED が有効と思われる場合は、電話で AED の場所をお伝えしています。

委員長：他に何かご意見がありますか。

委員：非常備消防費の消防団活動費が減っているが、その理由は。

事務局：新基準の活動服の更新が昨年度終了したことと、団員数の若干の減が影響しているものです。

委員長：主な影響は団員の作業着ということで良いか。

事務局：新基準の活動服は、本来 3 年度に分けて実施予定だったものを、消防委員さんの要請もあり、昨年度に繰り上げて 2 年で貸与ということになり、昨年度の購入数が多くなったものです。

(2)資料に基づき、平成29年度中の火災発生状況について、(3)平成29年度中の救急出動件数及び救急搬送人員について説明

委員長：何かご意見、ご質問がありますか。

委員：大雪での救急搬送件数について知りたい。降った日とその後で件数はどうか。

事務局：1月22日(月)は3件、翌23日(火)が2件、24日(水)10件、25日(木)1件、26日(金)2件、27日(土)2件、30日(日)1件、31日(月)1件。2月3日(火)が最終で1件でした。

委員：雪が降った2日後の24日が一番多いのはなぜか。また、一番多かった日に、救急車は蕨だけで足りたのか、他市から応援をいただいたのか。

事務局：2日後の要請が多かった理由ですが、凍ってアイスバーンになってしまい、非常にすべりやすくなり、転倒された方が多かったことが原因と考えています。戸田市消防から22日に1件と、24日に2件の応援をいただきました。

委員：転倒された方は、やはり高齢者が中心ですか。

事務局：必ずしもそうとは言えません。革靴で通勤して滑り、転倒された方もいます。また、2日目、3日目は、日の当たるところと当たらないところで溶け具合に大きな差があり、油断して長靴など、しっかりした靴を履かないで外出すると、雪が残っている歩道で転倒することが多いのではと思います。

委員：雪かきをしている所としていない所での差もあります。住民の方に何かアドバイスがありますか。

事務局：消防としましては、消火栓のある場所の雪かきを行っています。現在の消火栓は地下式が多いので、場所の確認を含め、できるだけ早期に回るようにしています。ただ、路地を含めた全ての道路となると、緊急対応の救急出動、火災出動等もある中では難しいのが現状です。

委員長：他に何かご意見がありますか。

委員：火災報知機についてお聞きします。年末にうちのマンションで誤作動があり、1回帰った後に、またもう一度来たことがあります。そんなこともあるのでしょうか。

事務局：設備が老朽化していると、故障が治らずに再度鳴ってしまうことは、よくあります。また、大雨が降って、感知器に水が入ってしまうと、通電して鳴ってしまい、乾くまで復旧しないこともあります。異常が無く、設備の老朽化が原因とわかると、設備の修繕を依頼しています。ただ、出動するときは、火災を前提として出動しますから、ホースを消火栓に繋ぎ、いつでも水を出せる体制をとりますので、大騒ぎになってしまいますが、消防としてはしかたがないことと考えています。

(4)資料に基づき、蕨市消防署塚越分署パブリックコメントについて説明  
質疑事項なし

(5)資料に基づき、平成30年春季火災予防運動について説明

委員長：何かご意見、ご質問がありますか。

委員：住宅用火災警報器の設置率はどのくらいの割合になったのか。

事務局：平成29年6月現在、総務省発表によると、蕨市が79%の設置率となっています。良い方なのではないでしょうか。

委員：もう少しですね。

その他として、平成30年度消防委員行事予定について、防災演習が南小、特別点検が中央小で行われること等を説明、了承を得る。

以上